

# な が や ま っ 子

校訓 「広げようやさしい心 きたえようじょうぶな体 育てよう学ぶ力」  
龍ヶ崎市立長山小学校学校だより 令和8年2月4日 No.22

## 県学力診断のためのテスト等の結果から

令和8年1月15日（木）、16日（金）に、4～6年生を対象に、県学力診断のためのテストが実施されました。その結果からは、自分の考え等を記述する問題の無答率は昨年度に比べて大きく減少したものの、「理由を明確にして書く力」や「目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力」に課題があることが分かりました。

これらを踏まえ、学力の向上に向けた具体的な取組についてご説明いたします。

- ①ペアやグループでの学習活動を積極的に取り入れます。
- ②根拠を明確にして、自分の考え等を「書く力」を高めます。
- ③家庭学習に意欲的に取り組めるよう声掛けを継続していきます。

①②については、各教科の授業において、ペアやグループで互いに考えを共有することを通して、一人一人が自分の考えを十分に整理し、自分とは異なる考え等に触れることでさらに自分の考えを広げ、深められるようにします。また、どのように根拠を明確にして書くかを具体的に指導していきます。その後、「字数等の条件に合わせて文章を書く活動」、「式や答えだけではなく、理由や自分の考え等を文章で書かせる活動」等を設け、「書く力」の育成に努めていきます。

③についてですが、確かな学力と学習習慣を身に付けていくことは、言うまでもなく一朝一夕でできることではありません。また、学校だけで、あるいは家庭だけでできることでもありません。子供たちの現状を見つめ、学校と家庭が連携しながら継続的に取り組んでいきたいと考えます。学校でも声掛けを継続していきますので、ご家庭でも宿題や家庭学習に確実に取り組んでいるかを見届けていただけたらと思います。

また、学習習慣については、茨城県教育庁学校教育部義務教育課 リーフレット「児童生徒の学習習慣の確立に向けて」をご参照ください。ご協力をよろしくお願いいたします。



# 児童生徒の学習習慣の確立に向けて

## 家庭での支えが子供を伸ばします

令和7年11月

茨城県教育庁学校教育部義務教育課



※令和6年度全国学力・学習状況調査経年変化分析調査及び  
保護者に対する調査結果資料

国では、経年で学力状況の変化を調査しています。令和6年度の調査結果※によれば、「小学校国語・算数、中学校国語・英語においてスコア（学力状況）の低下が見られた」、「学校外での勉強時間は前回調査から減少した」と報告されています。さらに、このような状況について、児童生徒の学校の授業での理解度、保護者の意識や働きかけなどが、児童生徒の学校外での過ごし方に影響を与えている可能性があるとしています。

お子様の学習習慣を確立するためには、学校だけでなく、保護者の方の働きかけや学習を支える雰囲気づくりも大切です。お子様が落ち着いて学べる環境づくりについて振り返り、力を伸ばしていけるようにサポートをお願いします。

### 家庭で子供が学習に取り組む雰囲気づくりを考えるポイント

1	子供の好きな教科、得意な教科を知っている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
2	新聞やテレビのニュースなどの話題をもっている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
3	学習への関心や意欲が高まる会話や声掛けをしている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
4	家族で読書をする習慣がある。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
5	子供ができたこと、挑戦したことをほめている。	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ

## ●●学習習慣の定着、進んで学ぶ子供を目指して●●

### 1 自分で学習計画をつくり、決めたことをやり抜く姿を見守る。

子供が自ら学習計画をつくり、自分で決めたことに基づいてやり抜くことが大切です。取り組む姿を見守り、応援して、子供の主体性を育てていきましょう。

学習計画をつくる際には、発達段階によって保護者の方のサポートが必要な場合もあります。お子様から学校での授業の進み具合を聞き取りながら無理のない計画を一緒につくり、計画にそった取組が継続できるようにしましょう。

### 2 テレビゲーム、スマートフォン使用時間のルールを一緒につくる。

テレビゲーム、スマートフォンの使用時間のルールをお子様と一緒に決め、時間の使い方を大切に  
する意識を育みましょう。

その際、お互いに納得できるよう、話し合っ  
て約束をつくることを大切にしましょう。

【ルールの例】・食事中、入浴中に使わない。（使用する場所や時間を決める。）

- ・無断でアプリをダウンロードしない。
- ・許可なく写真や動画を撮影して投稿しない。
- ・夜●時以降は、電話の使用、メールの送受信をしない。（「●」の数字は、各家庭で決める。）

### 3 読書の習慣を定着させ、読書の幅を広げられるようにする。

読書は、全ての学びの基盤であり、伝える力や新しいものを考える力を育むことにつながります。  
大人が読書をする姿を見せるなど、子供の読書への関心を高める雰囲気をつくりましょう。

また、読書の幅を広げるために、様々な分野の図書に触れられるようにしましょう。